

平成 28 年度日本魚病学会秋季大会のご案内 会場ならびに日程

大会会場

近畿大学農学部 (<http://nara-kindai.univ.jp/>)

奈良県奈良市中町 3327-204

口頭発表会場: 新教室棟 2 階 311 教室

ポスター発表会場: 新教室棟 2 階 312 教室



大会日程

平成 28 年 9 月 7 日 (水)～9 月 8 日 (木)

月日	時間	行事	場所
9月7日 (水)	8:30～	受付	新教室棟 エントランス
	9:30～12:10	口頭発表・ポスター紹介	新教室棟 311 教室
	12:10～13:00	平成 28 年度第 2 回幹事会	新教室棟 316 教室
	13:00～14:00	学会賞選考委員会	新教室棟 316 教室
	13:30～15:00	ポスター発表	新教室棟 312 教室
	15:00～16:00	平成 28 年度第 3 回評議会	新教室棟 316 教室
	16:00～17:00	平成 28 年度第 2 回編集委員会	新教室棟 316 教室
9月8日 (木)	8:30～	受付	新教室棟 エントランス
	9:30～11:30	口頭発表	新教室棟 311 教室
	13:00～14:45	口頭発表	

*発表件数が予想を上回ったため、2 日目の終了時間が予告と異なっております。ご理解の程よろしくお願いたします。

会場への交通案内

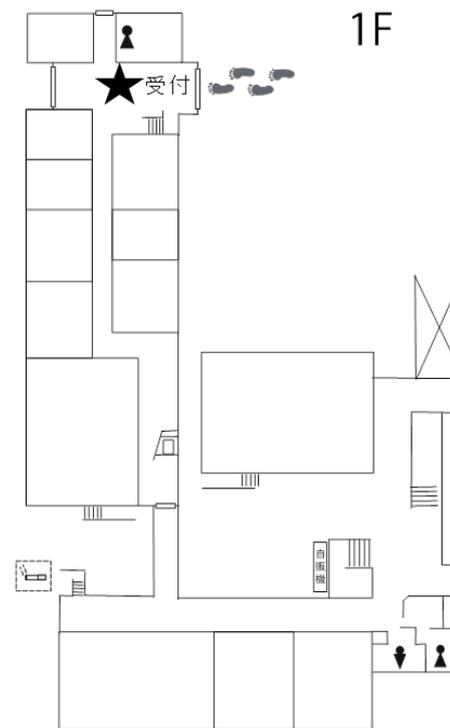
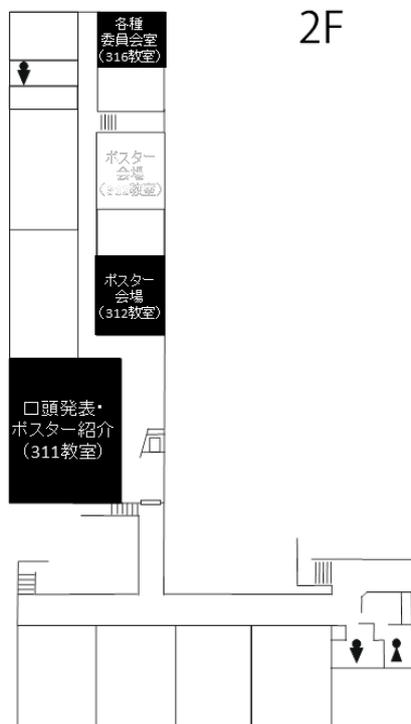
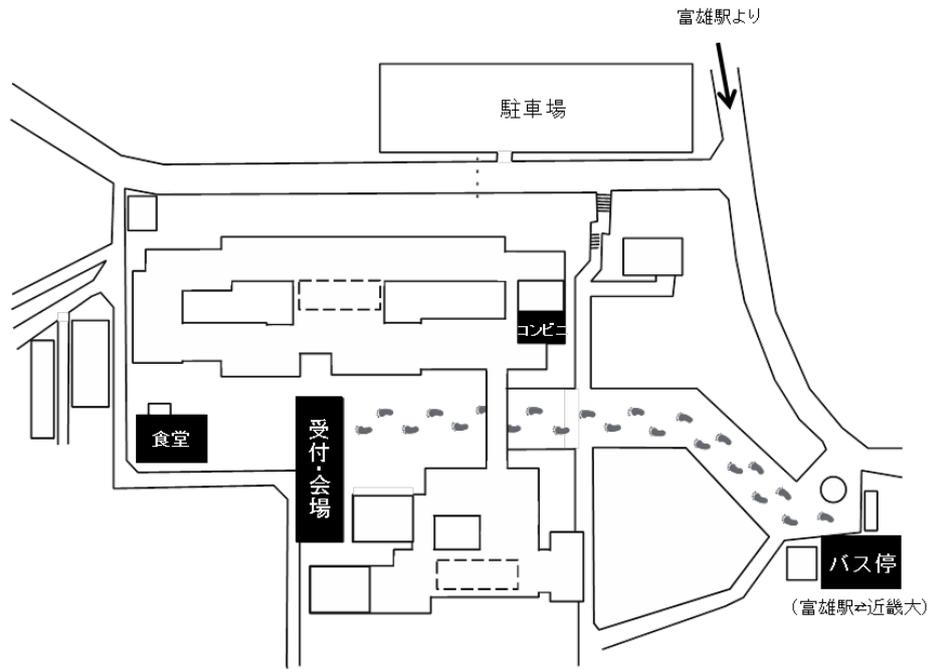
近鉄富雄駅西口道路向い側「近畿大学バス乗場」乗車、約 10 分。

アクセス詳細とバス時刻表は近大農学部 HP をご覧ください。

<http://nara-kindai.univ.jp/08facility/access.html>



魚病学会会場地図(近畿大学農学部 奈良キャンパス)



富雄駅⇄近畿大学農学部バス時刻表(所要時間約 10 分)

富雄駅発 近畿大学行(全て農学部着)

時	9月7日(水)	9月8日(木)
7		30
8	10, 26, 42, 50	10, 30, 42,
9	00, 05, 19, 58	00, 05, 19, 58
10	58	30, 58
11	58	30, 45, 58
12	58	15, 25, 35, 45, 58
13	58	28, 58
14	58	28, 58
15	28, 58	28, 58
16	28, 58	28, 58
17	36	36
18	12, 48	12, 48
19	29	29
20		

*朝は混雑が予想されますので、余裕を持ってお越しください

農学部発 富雄駅行

時	9月7日(水)	9月8日(木)
8	23, 55	23, 55
9	33	33
10	13	13
11	13	13
12	13, 43	13, 43
13	13	13
14	13, 30, 50	13, 55
15	13, 28, 43	05, 30
16	13, 43	13, 30, 43, 55
17	18, 53	00, 18, 25, 40, 53
18	25	25
19	05, 45	05,45

*バスダイヤは変更になる場合がありますので、必ず HP でご確認ください。

<http://nara-kindai.univ.jp/03campuslife/bus/index.php>



口頭発表プログラム

9月7日(水) 9:30~12:10

座長:佐野元彦(海洋大)

- 9:30 101 国内で検出されたカキヘルペスウイルス (OsHV-1) 変異型の病原性に関する研究
.....◦嶋原佳子・湯浅 啓・稲田真理・河東康彦・桐生郁也 (水産機構増養研)・
永井崇裕 (広島総研水技セ)・Benjamin MORGA・
Tristan RENAULT (フランス国立海洋開発研究所)
- 9:45 102 クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) に対する伝染性筋壊死症ウイルス (IMNV)
の病原性に関する研究
.....◦稲田真理・河東康彦・米加田徹・湯浅 啓・三輪 理 (水産機構増養研)・
Christina Retna Handayani (MCBA)
- 10:00 103 本邦養殖対象マス類の伝染性造血器壊死症ウイルス (IHNV) JRt Shizuoka lineage
(S型) に対する感受性
.....◦武江太郎・鎌田航平・水上 海・難波亜紀・間野伸宏 (日大生物資源)

座長:間野伸宏(日大生物資源)

- 10:15 104 水生動物疾病のリスク評価法に関する研究-I
~原因体の宿主域、病原性、生存性、不活化条件による評価~
.....◦湯浅 啓・桐生郁也・嶋原佳子・河東康彦・稲田真理 (水産機構増養研)・
大迫典久 (水産機構北水研)
- 10:30 105 水生動物疾病のリスク評価法に関する研究-II
~感染症の数理モデルを用いたコンピュータシミュレーションによる評価~
.....◦河東康彦・湯浅 啓・嶋原佳子・桐生郁也・稲田真理・
米加田徹 (水産機構増養研)

座長:横山 博(東大院農)

- 10:45 106 養殖クロマグロに寄生する住血吸虫 *Cardicola orientalis* の中間宿主内の動態
.....◦小川和夫 (目黒寄生虫館)・白樫 正・谷 和樹・石丸克也・
本領智記 (近大水研)・内田紘臣 (串本海中公園)
- 11:00 107 国内初報告となるムラサキイガイにおける *Perkinsus beihaiensis* 寄生
.....◦小松愛紀・良永知義・伊藤直樹 (東大院農)
- 11:15 108 カンパチ眼球炎の発症要因に関する研究
ーイソギンチャクの刺傷による影響試験ー
.....◦柳 宗悦 (鹿児島水技セ)・今岡慶明 (鹿児島県大島支庁)・
嶋原佳子・湯浅 啓 (水産機構増養研)

11:30 ポスター紹介(各2分、ポスタープログラム順)

12:10 休憩

13:30 ポスター発表

口頭発表プログラム

9月8日(木) 午前 9:30~11:30

座長:湯浅 啓(水産機構増養研)

- 9:30 201 アユの細菌性出血性腹水病における感染源および感染経路の推定
.....山本充孝(琵琶湖博物館)・二宮浩司(滋賀県水産課)・竹上健太郎・
遠藤 誠(滋賀水試)
- 9:45 202 褐色色素を産生する *Flavobacterium psychrophilum* のアユからの分離
.....永井崇裕・東谷福太郎(広島総研水海技セ)
- 10:00 203 穴あき病原菌非定型 *A. salmonicida* に対する感受性の魚種・品種間比較
.....藤原もも・丸山慎平(九大院農)・佐藤巧視(株式会社キョーリン)・
長澤貴宏・中尾実樹・○杉本智軌(九大院農)
- 10:15 204 多摩川支流域において認められたアユのエロモナス症
.....竹内久登・堀 一智・井上大悟(日大生物資源)・
高瀬智洋・澤崎昌子(都島しよ総セ)・難波亜紀・間野伸宏(日大生物資源)

座長:中井敏博(広大院生物圏)

- 10:30 205 国内で分離された *Yersinia ruckeri* の血清学的性状と遺伝的特徴
.....坂井貴光・山崎雅俊・伊東尚史・三輪 理・森広一郎(水産機構増養殖研)・
相木寛史(石川水総セ)
- 10:45 206 養殖魚由来 *Streptococcus dysgalactiae* の M-like protein の検出とその多様性
.....伊藤昭太郎(宮崎大農)・西木一生(水産機構中央水研)・
吉田照豊(宮崎大農)
- 11:00 207 *Lactococcus garvieae* KG⁻株ゲノム DNA おける莢膜合成遺伝子群の存在部位
.....金井欣也(長大院水環)・本間利雄・左右田茜・首藤公宏(バイオ科学)・
杉原志貴(長崎総合水試)
- 11:15 208 マス類のスレ症に対する塩水浴の効果
.....菅原和宏(滋賀水試)
- 11:30 休憩

口頭発表プログラム

9月8日(木) 午後 13:00~14:45

座長:倉田 修(日獣大)

- 13:00 209 マゴイで自然発生した腫瘍の免疫染色性
.....○大村拓也・安本信哉・近藤昌和・高橋幸則 (水産大学校)
- 13:15 210 Poly(I:C)の構造が自然免疫賦活作用に与える影響
.....○西川翔太郎・笠井久会 (北大院水)
- 13:30 211 α 溶血性レンサ球菌症 2 価不活化ワクチンのブリ属魚類における安全性及び有効性
.....○村上大雅・宮台英典・高野良子 (共立製薬株式会社)
- 13:45 212 アユの細菌性冷水病に対する感染防御抗原の探索
.....○南 俊伍 (海洋大)・鈴木究真・渡辺 峻 (群馬水試)・
佐野元彦・加藤豪司 (海洋大)

座長:加藤豪司(海洋大)

- 14:00 213 インターロイキン 17A/F1 遺伝子変異メダカの構築
.....○引間順一・森本和月・河野智哉・酒井正博 (宮崎大農)・
竹山春子 (早大先進理工)・青木 宙 (早大ナノ理工)・木下政人 (京都大農)
- 14:15 214 魚類ミコバクテリア症原因菌が合成する糖脂質の細胞性免疫誘導型アジュバント
としての有効性
.....○松本 萌 (鹿大連農)・西村沙也香・早志和真・塩崎一弘 (鹿大水)・
中西照幸 (日大生物資源)・山本 淳・荒木亨介 (鹿大水)
- 14:30 215 魚類ミコバクテリア症原因菌が産生する ESAT-6 および CFP-10 の感染防御抗原と
しての有効性
.....○早志和真 (鹿大水)・松本 萌 (鹿大連農)・中西照幸 (日大生物資源)・
山本 淳・荒木亨介 (鹿大水)

ポスター発表プログラム
9月7日(水) 13:30~15:00

- 301** Kinetics of VHSV infectivity and virus distribution from six target organs between survived or dead VHSV-infected olive flounder by two different VHSV challenge route
.....◦Soo-jin Kim · Jong-Oh Kim · Wi-Sik Kim ·
Myung-Joo Oh (Chonnam Natl. Univ.)
- 302** Development of detection method for nervous necrosis virus (NNV) based on quantitative reverse transcriptase polymerase chain reaction (qRT-PCR)
.....◦Jae-Ok Kim · Jong-Oh Kim · Wi-Sik Kim ·
Myung-Joo Oh (Chonnam Natl. Univ.)
- 303** Comparison of expressed immune related genes from spleen and kidney between VHSV-infected and live VHSV vaccine treated olive flounder
.....◦Ji-Hyeong Bang · Soo-jin Kim · Wi-Sik Kim ·
Myung-Joo Oh (Chonnam Natl. Univ.)
- 304** 滑走細菌 *Tenacibaculum maritimum* フェージの分離とその性状
.....◦河東康彦 (水産機構増養殖研) · 花岡 誠 · 中井敏博 (広大院生物圏) ·
石丸克也 (近大水研) · 安池元重 · 西木一生 · 中村洋路 · 藤原篤志 (水産機構中央水研)
- 305** Isolation of *Streptococcus dysgalactiae* from farmed striped jack *Pseudocaranx dentex* and its pathogenicity
.....◦Takayuki Minami (Miyazaki Pref. Fish. Res. Inst.) · Shotaro Ito ·
Yasuhiro Kazama · Terutoyo Yoshida (Miyazaki Univ.)
- 306** DGGE 解析を用いた *Nocardia seriolae* の 16-23S rRNA ITS の多様性に関する研究
.....◦笠間康宏 (宮崎大農) · 柳 宗悦 (鹿児島水技セ) · 吉田照豊 (宮崎大農)
- 307** Characterization, comparison three virulent phages of *Lactococcus garvieae* and demonstration of bacterial capsule influence on phage production
.....◦Truong Dinh Hoai (Miyazaki Univ.) · Issei Nishiki (水研セ) ·
Terutoyo Yoshida (Miyazaki Univ.) · Toshihiro Nakai (Hiroshima Univ.)
- 308** *Lactococcus garvieae* II 型の疫学調査
.....◦大林和哉 (宮崎大農) · 福田 穰 (大分水研) · 柳 宗悦 (鹿児島水技セ) ·
南 隆之 (宮崎水試) · 西木一生 (水研セ中央水研) · 吉田照豊 (宮崎大農)
- 309** ブリから分離された非凝集性 *Lactococcus garvieae* 122061 株の全ゲノム解析
.....◦西木一生 · 岩崎裕貴 · 安池元重 · 中村洋路 (水産機構中央水研) ·
吉田照豊 (宮崎大農) · 藤原篤志 · 長井 敏 · 加藤雅也 · 小林敬典 (水産機構中央水研)

- 310 マダイおよびカワハギに対する天然アミモンガラ由来 *Vibrio campbellii* の病原性および病理組織学的研究
 ◦安本信哉・松井浩太郎・近藤昌和・高橋幸則（水大校）
- 311 *Nocardia seriolae* 菌株の生化学・遺伝学的特性と病原性に関する研究
 ◦嶋原佳子・河東康彦・米加田徹・湯浅 啓（水産機構増養研）・
 南 隆之（宮崎水試）・柳 宗悦・平江多績（鹿児島水技セ）・山下亜純（愛媛県庁）・
 杉原志貴（長崎水試）・永田大生（天草広域本部）
- 312 体表の損傷はオクロコニス症の感染を助長する
 ◦倉田 修・田口仰星・和田新平（日獣大）・天社こずえ（山口水研）
- 313 *Photobacterium damsela* subsp. *piscicida* 日本分離株の全ゲノム塩基配列の決定
 ◦引間順一・輝 祐希・酒井正博・（宮崎大農）・高野倫一（水産機構増養殖研）・
 竹山春子（早大先進理工）・青木 宙（早大ナノ理工）
- 314 ハギ類由来新規 NTM に対する特異的 PCR プライマーの開発
 ◦深野華子（日獣大水族医学）・吉田光範・星野仁彦（感染研ハンセン）・
 大松 勉・水谷哲也（農工大感染セ）・倉田 修・和田新平（日獣大水族医学）
- 315 ランチュウの *A. veronii* 感染症に対するファージ療法のファージ投与方法別の有効性
 ◦林 諒紀・河原栄二郎（福山大生命工）
- 316 好中球顆粒の多様性モデル
 ◦近藤昌和・安本信哉・高橋幸則（水大校）
- 317 分離起源の異なる冷水病菌の水温に対する応答の違い
 ◦永田恵里奈・進藤有章・古谷あゆみ・山岡秀旭・江口 充（近畿大農）
- 318 カンパチにおける種苗サイズによるベコ病発症率の違いとシスト数の長期変化傾向
 ◦浜野祥吾・白樫 正（近大水研）・有元 操・森 広一郎（水産機構増養研）
- 319 ハダムシ *Benedenia epinepheli* ふ化幼生の光刺激に対する反応
 ◦三浦真由子・石丸克也・石谷浩江・白樫 正（近大水研）

